

宝達志水町下水道維持管理包括業務

優先交渉権者審査基準

令和7年 12 月

宝 達 志 水 町

目 次

第1章 審査方法

- 1 審査方式・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 受託事業者選定手順・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 委員会の設置・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 資格審査及び基礎審査・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 定量化審査

- 1 プレゼンテーション及びヒアリング・・・・・・・・ 2
- 2 提案内容の審査・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 受託事業者の選定・・・・・・・・・・・・・・ 2

第3章 総合評価点の算出方法

- 1 配点方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 事業提案審査事項・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 評価点の算出方法・・・・・・・・・・・・・・ 4

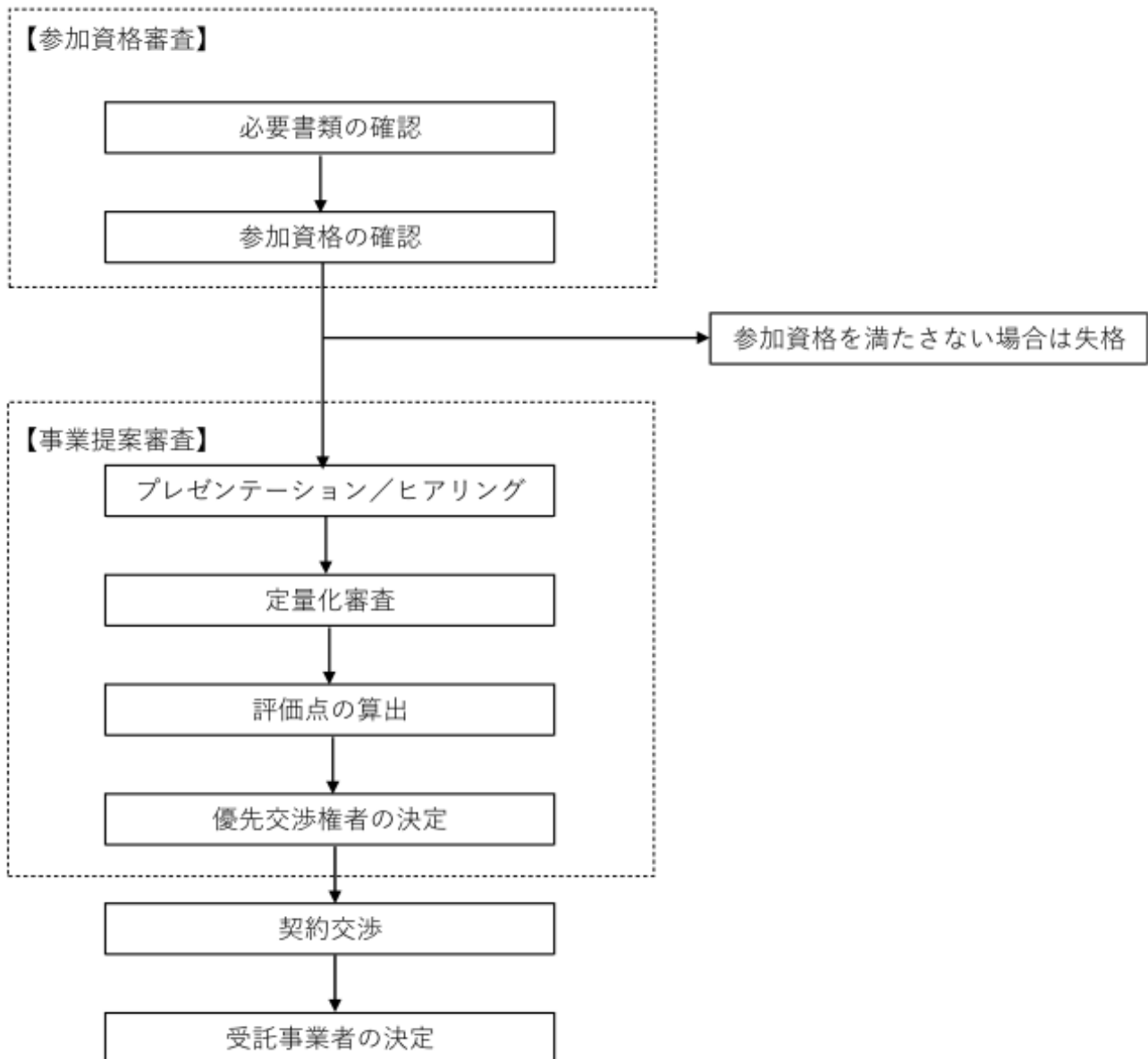
第1章 審査方法

1 審査方式

受託事業者の選定は、公募型プロポーザル方式により実施し、本業務の目的に最も合致した業務遂行能力等を有する事業者を選定する。

2 受託事業者選定手順

受託事業者決定までのフローは、下図に示すとおりとする。



3 委員会の設置

本業務に関する宝達志水町下水道維持管理包括業務プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）の審査により選定された最優秀提案をもとに、町はその優先交渉権者と契約交渉を行い、双方の合意に至ったときに契約を締結する。

4 参加資格審査

(1) 参加資格確認申請書等の確認

町は、参加事業者から提出された参加資格確認申請時提出書類について、実施要領に定める書類がすべて揃っていることを確認する。

(2) 参加資格要件の確認

町は、参加事業者が実施要領に記載した参加資格要件を満たしていることを確認する。参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

(3) 事業提案書の確認

町は、参加事業者から提出された事業提案に係る提出書類について、実施要領に定める必要書類がすべて揃っていることを確認する。

第2章 定量化審査

1 プレゼンテーション及びヒアリング

町は、参加資格審査を通過した参加事業者を対象として、提案内容の確認等のため参加事業者にはプレゼンテーションを求め、ヒアリングを実施する。実施の詳細については、事前に参加事業者へ通知するものとする。

(1) 実施時期等

実施時期は令和8年1月中旬を予定し、日時、場所、ヒアリング内容等の詳細については、事前に参加事業者へ通知するものとする。

(2) 実施方法

参加事業者によるプレゼンテーションは、次のとおり行う。なお、その他事項については、実施時期等と併せて通知するものとする。

ア 参加人数は7名以内とし、本業務における業務遂行責任者（予定者）は必ず出席すること。

イ プレゼンテーション及びヒアリングは非公開とする。

ウ プレゼンテーションは、1参加事業者につき20分以内とし、ヒアリングは10分程度とする。

エ プレゼンテーションは、事業提案書に記載したものに限るものとし、追加の提案は認めない。

オ プレゼンテーションに必要な機材等については、町が準備するもののほか、特殊な機材等があるときは、参加事業者が準備するものとする。

2 提案内容の審査

(1) 審査方法

委員会は、事業提案の内容に対し事業提案審査項目に基づき、専門的見地から評価し「事業提案評価点」を算定する。また、「価格評価点」は、予め定める算定式に提案金額を入力し算定する。

(2) 総合評価点の算出

「事業提案評価点」及び「価格評価点」を合算し、総合評価点を算出する。

3 受託事業者の選定

(1) 選定候補者の決定

委員会は、総合評価点により参加事業者の評価順位を決定し、最も評価が高い参加事業者を選定候補者とする。最高評価点が2者以上となったときは、「事業提案評価点」において次の順位で当該審査項目の最も得点の高い者を選定候補に決定する。

ア 運転管理業務

- イ 保守管理業務
- ウ 一般事項
- エ その他の提案
- オ コンサルタント業務に関する提案

なお、この場合においても同点のときは、各委員の投票により選定候補者を決定するものとする。

(2) 優先交渉権者及び受託事業者の決定

町は委員会の審査結果を踏まえ、優先交渉権者を決定し、契約交渉を行う。優先交渉権者との契約締結をもって受託事業者の決定とし、業務引継ぎ等を開始するものとする。

第3章 総合評価点の算出方法

1 配点方針

「事業提案評価点」は【150点】、「価格評価点」は【50点】を満点とし、それぞれの合計点を総合評価点とする。

2 事業提案審査事項

審査項目及び評価項目は、以下のとおりとする。

No	審査項目	評価の目的	配点	評価項目
1	一般事項	業務を円滑に実施できる経験を有しているか、経営状況に問題ないかを確認	10	参加者の業務実績
				参加者の資格保有者数
				参加者の経営状況
				参加者の技術的特徴
2	業務実施方針	業務の目的や内容、発注者の基本方針を踏まえた仕様と要求水準に対する理解度を確認	15	—
3	業務実施体制	業務を確実に履行するための適切な実施体制を有しているかを確認	15	総括責任者の業務実績
				人員配置計画
				業務従事者への教育
				安全衛生管理体制
4	業務内容に関する提案 (運転管理業務)	運転管理業務の品質を高いレベルで確保することを促す	25	運転管理
				水質管理
				調達管理
				保安全管理
5	業務内容に関する提案 (保守管理業務)	保守管理業務の品質を高いレベルで確保することを促す	25	保守管理
				衛生管理
				修繕業務
6	業務内容に関する提案 (その他の業務)	その他業務の品質を高いレベルで確保することを促す	30	文書及びデータ管理業務
				安全衛生管理
				業務引継ぎ
				環境保全
				危機管理及び緊急時対応業務
7	コンサルタント業務に関する提案	業務の目的・整備目的・内容の理解度を確認	10	下水道事業コンサル業務の受託実績
				設計・施工上の課題と対応の考え方

8	その他の提案	その他業務の品質を高いレベルで確保することを促す	20	リスク管理・分担
				コスト縮減
				地域貢献・社会貢献
				その他の独自提案
事業提案評価点 合計			150	

3 評価点の算出方法

(1) 事業提案評価点の算出方法

審査項目に示す審査の視点から事業提案書の内容を項目ごとに以下のとおり4段階に評価し、その合計点を事業提案評価点とする。なお、事業提案評価点は、小数点第2位まで算出するものとする。

評価	評価基準	得点化方法
A	当該項目において、優れている	配点×1.00
B	当該項目において、普通である	配点×0.50
C	当該項目において、劣る	配点×0.20
D	当該項目において、町の要求を全く満たしていない	配点×0.00

(2) 価格評価点は、以下の算定式により算出する。なお、見積上限額を上回る場合は失格とする。

$$\text{価格評価点} = \text{【50】} - \frac{(\text{該当参加事業者の提案見積額} - \text{最低提案見積額})}{\text{最低提案見積額}} \times \text{【50】}$$

(3) 一者のみ参加のときは、最低選定基準（満点の6割以上×委員数）を満たしていれば、受託候補者として選定する。